



市景

瓦版
～第4号～

【解説】市制施行50周年を記念して、大・小のホールをはじめ、展示室、茶室、華道室、会議室などを備えた芸術文化の拠点として設立。プロムナードの街路樹はケヤキで、市制施行80周年目を迎える平成26年より、冬季限定で街路樹をイルミネーション点灯している。

イルミ・フラワーコンテスト!

参加者募集中!!



イルミネーション部門 (個人)



イルミネーション部門 (団体)

過去の
大賞作品



フラワーリース部門



寄せ植え部門

お知らせ

【目的】

素敵な夜間景観としての「イルミネーション」及び、花や緑による美しいまちづくりとしての「ガーデニング」について、皆様の日頃の活動成果を発表し、魅力ある市川を発信して参ります。

【部門】

①イルミネーション部門 (写真)

各家庭や自治会などで取り組んでいるイルミネーションの様子を写した写真を展示します。

②フラワーリース部門 (現物)

根付の草花を寄せ植えたリース作品現物を展示します。

③寄せ植え部門 (現物)

プランター、鉢などの器に根付き植物を寄せ植えた作品現物を展示します。

【応募期間】

- ① 平成28年11月14日(月)まで
- ②③平成28年10月31日(月)まで

【応募方法】

申込用紙を持参・郵送・FAX・メールいずれか。

【説明会】

参加者交流を兼ねた説明会を実施。
11月26日(土)10時～ 市役所5階理事者控え室

【展示日程】

12月21日(水)～25日(日) 10時～17時
(25日は正午まで)

【展示会場】

メディアパーク市川 1階エントランスホール

イルミネーションバスツアー 開催決定!

【日時】

平成28年12月17日(土)16時～19時

【内容】

市内のイルミネーションスポットをマイクロバスで巡る。

①クリスマスコンサート鑑賞

16時にアイリンクタウン展望室に集合し、17時までコンサートを鑑賞する。

②マイクロバス移動

①終了後、市川駅からマイクロバスに乗り込み2時間程度で市内を巡る。

※詳細は決定次第「市ホームページ」や「ポスター」等でお知らせして参ります。

※詳細は「応募要項」または「市ホームページ」をご覧ください。

PICK UP!

イルミネーションコンテスト

市川市では、市民・事業者・行政などが協働により、「美しい景観」の形成に向けて様々な取り組みをしています。その取り組みの1つに、夜間景観として主要駅等での「イルミネーション」の実施や、個人・団体が独自に行っているイルミネーションを対象とした「イルミネーションコンテスト」を開催しています。

今回は平成27年度にイルミネーションコンテスト団体部門で大賞を受賞された福栄の**ライオンズマンション** **南市川自治会**さんにお話を伺ってきました。



子ども会が飾る中庭。去年のテーマはディズニー♪



大賞を受賞した
イルミネーション作品



「色とりどりのオブジェがすごいと思い、実物を見に行きたいと思うほどでした。」等投票者の様々な賛辞がありました。



点灯期間中は、見学に来た車で前の道が渋滞することも



コンテスト応募のきっかけは、広報を見た住民からの提案！

★ 受賞者インタビュー ★



自治会長の遠藤さん（左）と相談役（前会長）の倉地さん（右）

Q. イルミネーションを始めたきっかけはなんですか？

マンション建設から30年になるが、当初の入居者はみんな外から入ってきた新しい人たちばかりで、ドアの外は他人、関わりや面識がないという状況だった。「同じところに住むもの同士で何かやりたい」と考えた有志が、野球部などの集まりを作り、「イルミネーション」もその一つで正式に組織ができる前から有志でやっていた。

Q. イルミネーション以外に活動されていることはありますか？

一番大きなイベントとして夏祭りを実施している。近隣の方も招待し、毎年たくさんの参加者で賑わっている。

その他にも、クリスマス会や餅つき大会、夏の土日に屋上を開放する「パノラマガーデン」や、子ども会が行うハロウィンイベントに高齢者の集い「さくら会」の有志が参加するなど、様々なイベント・活動を通して居住者同士や近隣の方との交流が生まれている。

Q. どのような想いでイルミネーションを続けていますか？

居住者の皆さんが喜んでくれたり、近隣の住民の方からも毎年楽しみにしていると声をかけてくれることがうれしい。

また、新しく入ってきた住民が取り組みをみて「すごい、ここに引っ越してきて良かった。」と驚いてくれることにやりがいを感じる。

世代間や新旧住民のコミュニティの場として続けていきたい。

Q. 工夫されたり努力されていることはありますか？

ライトは毎年継ぎ足しているが、数年前全てLEDに切り替えたことで、電気代が安くなった。中庭のスペースは子ども会が有志と協力して飾り付けを行っている。

また、飾りつけや片付けは半日がかかりだが、電気工事や高い場所の飾りつけなど、それぞれの得意分野で個性豊かな有志が協力して行っている。

今年のコンテストの様子

コンテストには個人部門8作品、団体部門2作品がエントリーし、市内施設で展示・投票を行いました。

投票

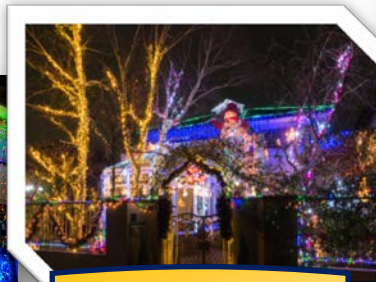
投票は2会場で実施され、5日間で884名の方に投票いただきました。



フラワーリース
コンテストも
同時開催

大賞決定

この投票により、力こもった数々の作品の中から個人部門と団体部門の大賞が選ばれました。



個人部門大賞作品



個人のお宅とは思えない迫力

投票者から寄せられたコメント

皆さん、自分の満足のためだけでなく、「孫のため」「近所の方が楽しみにしている」など、誰かのために飾り付けなさってるのがステキだなと思いました。

帰り道でイルミネーションをしている家を見ると少しうれしくなります。

夜まで仕事のために外移動の日々ですが、とおりの家々にイルミネーションの明かりが灯り始めると、「もうひとふんばり、がんばろう」という気持ちになります。

毎年クリスマスには楽しみに待っている人たちのため、これからもぜひ続けてください。

※原文まま記載

今年も開催します！
コンテストへの参加お待ちしております。



今年も開催！ ガーデニングマーケット



市民まつりの中央広場にて、昨年大好評だった「ガーデニングマーケット」を実施します。まつりと一緒に、おदनなお買い物もお楽しみください！

日時：11月3日（木・祝）10：00～16：00
小雨決行・荒天中止
会場：大洲防災公園 中央広場

草花の販売はもちろん
フラワーアレンジメントの
講習会も開催！



お知らせ、取り組みの様子など
景観まちづくりの情報を
お待ちしております！

募集中！

景観賞受賞者に聴く

Vol.2

農園(左)と花壇(右)。手入れをして楽しむ方も、眺めて楽しむ方も。

このコーナーでは、歴代の景観賞受賞者に、どのような景観まちづくりを行っているのかお話を伺います。

第2回目は、第7回景観賞受賞者の山藤勝巳・久子夫妻です。

花の道オアシスは、おいしいコーヒーとおしゃべりの場所です。



コーヒーで応援!



山藤ご夫妻の取り組む「花の道クラブ」は景観まちづくりを通じた友好の場、健康づくりの場です。
オープンな場所で、遊びに来て、おしゃべりをして、健康寿命をのばそう!
をモットーに、日々、たくさんの仲間が集っています。

受賞理由

地域特性に配慮し、内外空間を一体と捉えたゆとりと憩いのあるお休み処が、行き交う人々の安らぎの場として親しまれている。

ここはすごく楽しいわよ!



ホールで卓球! 終わったらオアシスで一休み!

花の道オアシスの設計をされた高木彬夫氏にデザインコンセプトを伺いました

殺風景な道に花を飾ってうるおいのある道にしたい、「道筋全体が花壇になること」からまちづくり活動が始まった。
道のふくらみが花のある庭であり、庭を共有して室につながる。建物・花のある庭・道に一体の関係が出来た時に生まれる、開かれた、広場化した空間を意図した。
まちの人たちが誰でも気軽に立ち寄り、一杯のお茶を飲みながら生まれる会話、それが開かれたコミュニティである。

まちなかガーデニングフェスタでは子どもたちが遊びにきます。5月には種まき教室をしました!



Q 景観まちづくりを始めたきっかけは?

奥之院に参拝にくる方や散歩をする方が家の前を通るのを見た妻の「四国お遍路のような接待がやりたい」がきっかけ。それが拡大していけばもっと地域のために役立つものができると思い、「地域発展の拠点の場所にしよう」と心に宣言してこの花の道クラブを作った。お客さまは自然に増えていった。いつ来てもらってもいることが大切だと思う。今では休むと怒られるほど、楽しみにしてもらっている。

Q 花の道クラブではどんな活動をしていますか?

花壇と農園では5、6名を中心に40名ほどが手入れに関わっている。ガーデニング・シティいちかわの協働花づくりやオープンガーデンにも参加したり、近所の公園を掃除したりしている。
ホールでは卓球や健康マージャンなどを行っている。毎年企画しているバス遠足は今年で5回目になる。
花の道オアシスではおいしいコーヒーと仲間との会話を楽しんでもらっている。代金は花の協賛金になっている。



息の合った山藤ご夫妻

Q 花の道クラブの元気の秘訣は?

仲間と健康。仲間とにぎやかに話し、笑うことで元気をもらっている。だから、人を傷つけることはあってはならない。
そして、年齢を理由にじっとしているのではなく、健康な体でできることをやり、隣近所や仲間同士で支え合うことで、いつまでも元気でいられる。

Q 景観まちづくりにどのような思いがありますか?

心の景観を大切にしている。見た目だけでなく、ハートのつながったものをつくりたい。お客さまはハートのつながり。思いを共有してくれる人がいれば、来る者拒まずでやっている。
奥之院の坂の下から児童公園までの道を市川で一番きれいな散歩道にしたいと思っている。それぞれの家が一鉢のプランターを家の前に置けば花のある道になる。花は歩く人の心の癒し、子どもたちの心の教育になる。ひとつつながればコミュニティができ、安心安全な地域になる。ハートをこめて、地域を盛り上げていきたい。